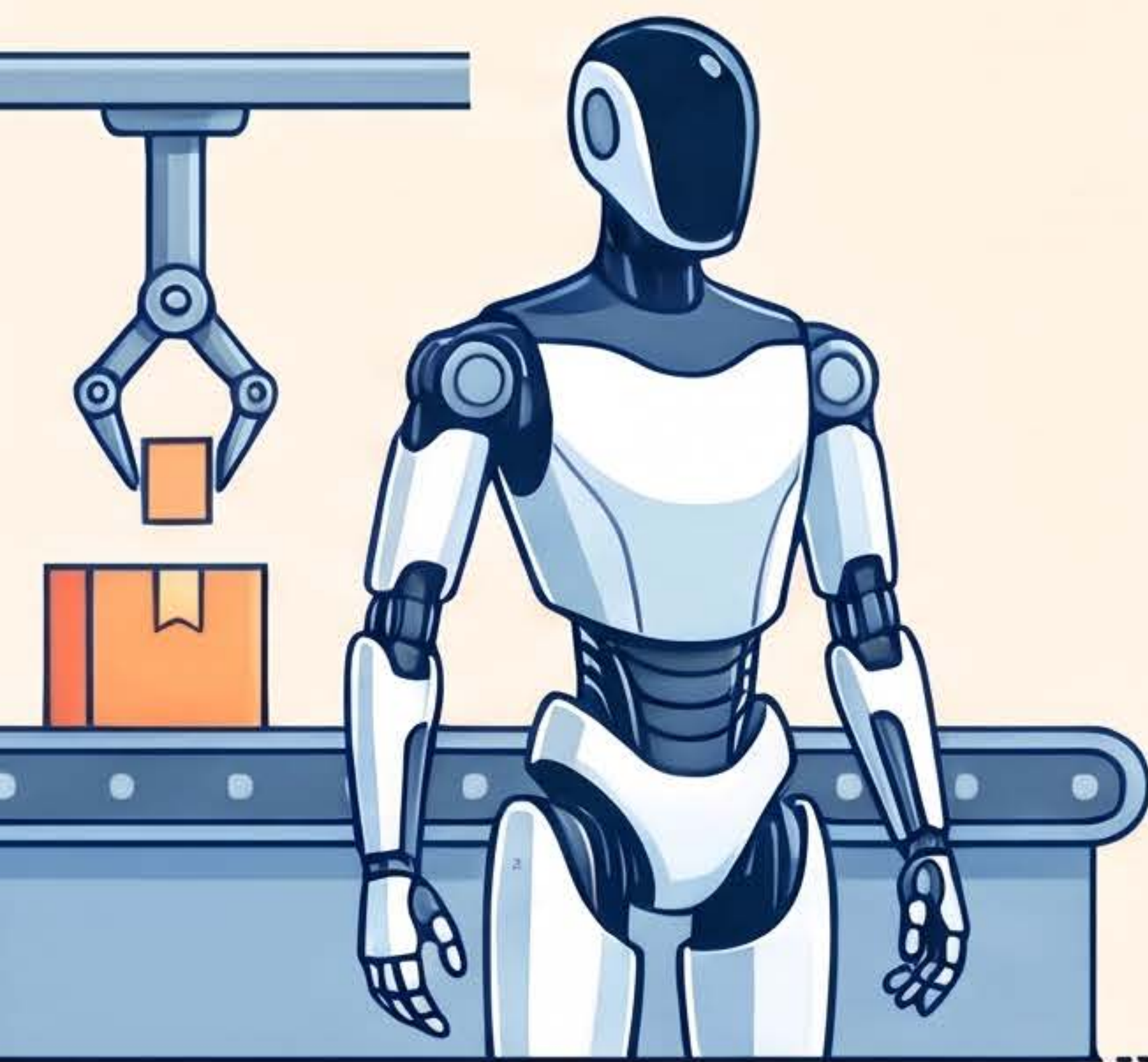


テスラ「Optimus」生産開始の実態と課題：発表内容 vs 市場の現実

発表内容と実際の製造状況（公式発表 vs 実態）

「量産開始」ではなく「立ち上げ初期 (Early Ramp)」

- 量産ライン稼働は事実だが、生産台数や能力、価格は一切非開示。



外部顧客への納入開始は
2027年末頃の見通し



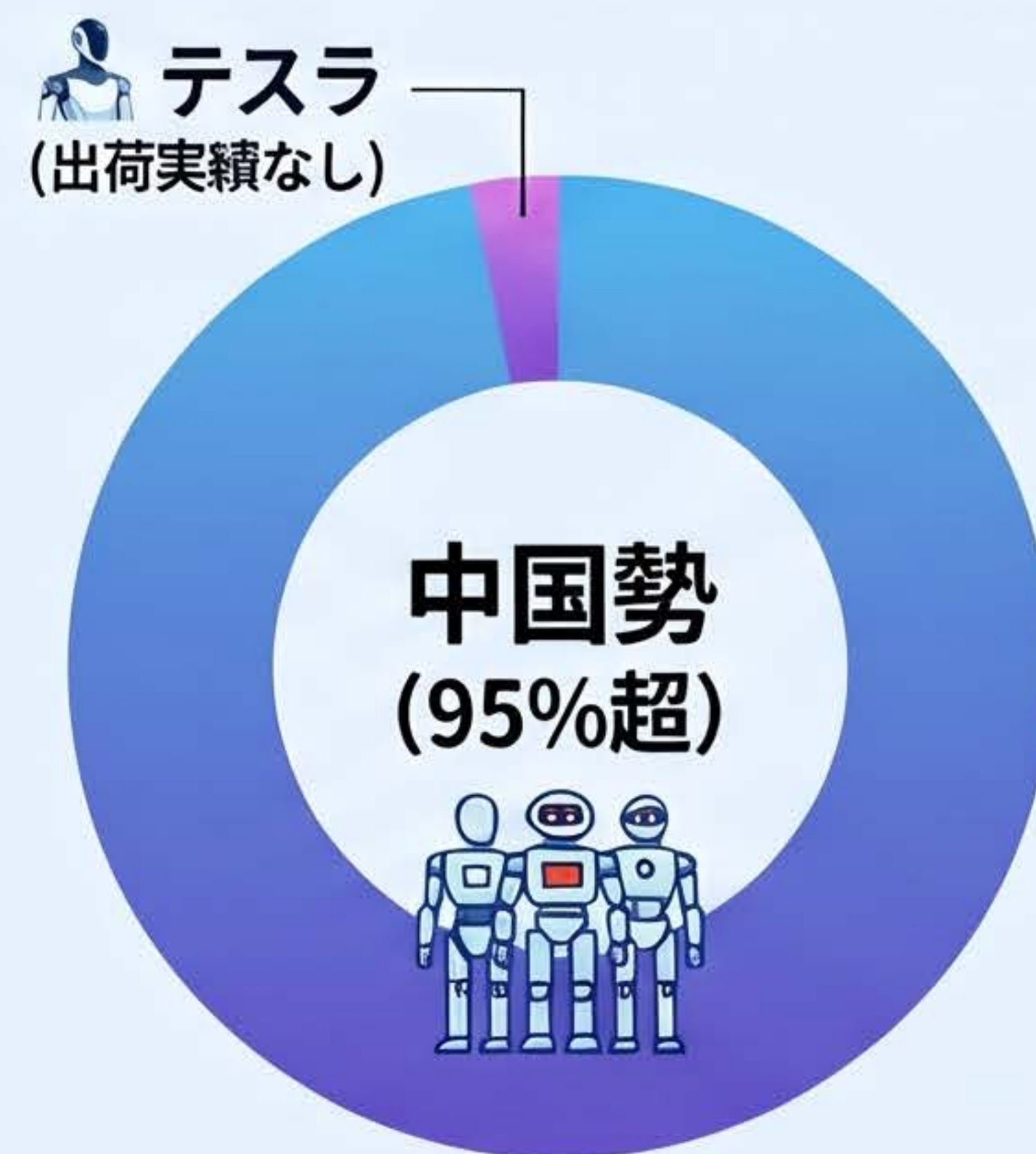
週2万台ペース達成には1年以上
かかり、目標は後ろ倒し傾向。



2026年の設備投資計画を
200億ドルへ下方修正

OptimusやCybercabの立ち上げが想定
より緩やかであることを示唆。

グローバル市場と知財における立ち位置（テスラ vs 競合）

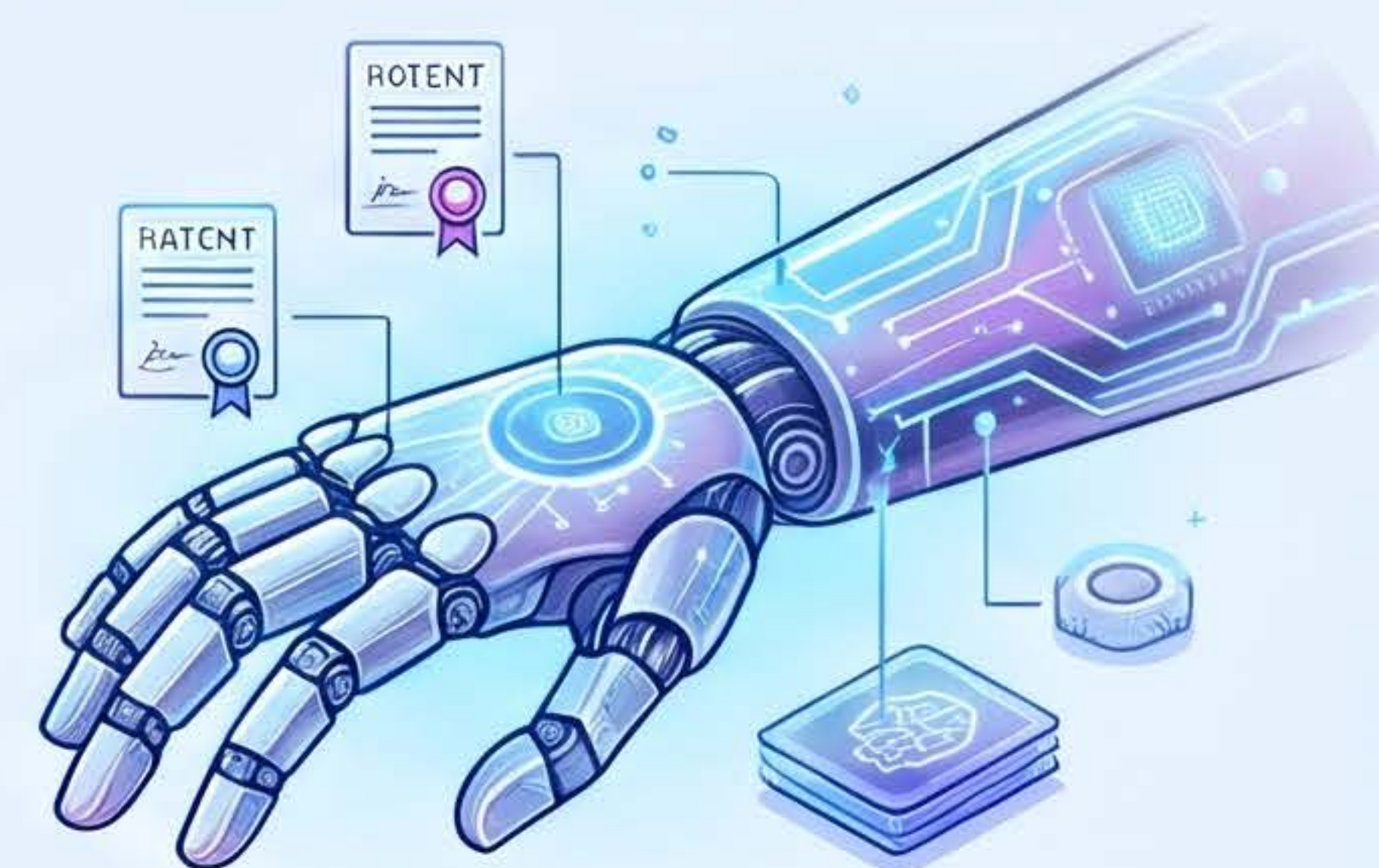


2026年上半期の量産・
出荷シェアは中国
勢が95%超を占有

低価格と量で先行する中国勢に
対し、テスラはまだ出荷実績の
土俵外。

特許出願はハンド・前腕に
集中し、件数は16件と
少数派

機構の要所のみ特許化し、AI学習
や製造工程は営業秘密として秘匿
する戦略。



営業秘密
(AI学習・製造工程)